

科目名 (英)	Project Placticum プロジェクト演習	必修 選択		年次	2	担当教員	愛澤伯友
学科・コース	情報技術	授業 形態		総単位 時間		開講区分	前 期 月 曜 1・2 限
【実務経験】 JavaScriptはあらゆる業務、研究でプロトタイプとして制作しています							
【授業の学習内容】 1年次に学習したJavaScriptを復習し、さらにサーバーサイドプログラミングへの橋渡しとなるさまざまなJavaScriptの用法を学習する							
【到達目標】 ・JavaScriptを用いたフロントエンドについてより深く知る JavaScriptの中級レベルの文法を理解する							
【使用教科書・教材・参考書】 「ステップアップJavaScript」				【授業外における学習】 授業内で扱ったソースをカスタマイズして応用力を付ける			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 Jsを使ったWebでの表示ができる 【授業内容】 JavaScriptの復習			9	【到達目標】 クロージャーについて理解 【授業内容】 クロージャー		
2	【到達目標】 タイマーの管理ができる 【授業内容】 ストップウォッチを実例に			10	【到達目標】 例外処理の理解と実装 【授業内容】 例外処理、プリミティブ		
3	【到達目標】 ファクタリングについての理解 【授業内容】 ファクタリング、DOM			11	【到達目標】 各種非同期処理を作成できる 【授業内容】 非同期処理		
4	【到達目標】 モダンJavaScriptについての理解し、ルールに従ったコーディングができる 【授業内容】 ES6の新文法、クラス			12	【到達目標】 トランスパイルの理解と実装 【授業内容】 トランスパイル		
5	【到達目標】 JavaScriptを利用した画像の表示 【授業内容】 メディア利用のためのJavaScript			13	【到達目標】 サンプルソースの構築 【授業内容】 データの取得、保持、検索		
6	【到達目標】 JavaScriptのスコープを理解 【授業内容】 スコープ、this			14	【到達目標】 期末試験 【授業内容】 知識(筆記)と技術(実技)課題により評価		
7	【到達目標】 Node.jsについて概念を理解 【授業内容】 Node.jsについて			15	【到達目標】 講評、解説 【授業内容】 期末試験の講評並びに解説		
8	【到達目標】 Ajax利用できる 【授業内容】 Ajax利用できる、CORS			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	Applied JavaScript	必修 選択		年次	2	担当教員	愛澤伯友
	JavaScript応用						
学科・コース	情報技術科・Webプログラマー	授業 形態		総単位 時間		開講区分	前 期
						曜日・時間	木 曜 1・2 限
【実務経験】 日常的に各種業務のプロトタイプをJavaScript等で作成							
【授業の学習内容】 ・モダンJavaScriptの記述書法 JavaScriptにおけるオブジェクト指向 ・クライアントサイド開発の基礎							
【到達目標】 モダンJavaScriptの記述方法の学習を通じて、現代のJavaScriptの応用分野について考察し、自身のプログラミングに役立てる							
【使用教科書・教材・参考書】 「本格入門JavaScript」、資料・コード当は授業内で配布				【授業外における学習】 授業内で取り扱ったコードは、自分なりにカスタマイズし応用できるようにすること			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 JavaScriptについて概略の理解 【授業内容】 ES6について、Nodeについて、JavaScriptにおけるVSCの使用について			9	【到達目標】 JavaScriptにおけるオブジェクトについて理解している 【授業内容】 JavaScriptにおけるオブジェクトの基礎、プロトタイプ		
2	【到達目標】 JavaScriptの基礎的なコードが作成できる 【授業内容】 文字コード、変数、配列などの基礎文法をモダン様式で再確認			10	【到達目標】 JavaScriptにおけるオブジェクト、特にカプセル化や継承などについて理解している 【授業内容】 クラスの基礎、クラス、カプセル化、継承、モジュール		
3	【到達目標】 JavaScriptの各種演算子について理解している 【授業内容】 算術、代入、比較、論理、ビット、順位などの各種演算子の使用方法			11	【到達目標】 DOMについて理解している 【授業内容】 クライアントサイドの前提知識、属性値取得、フォームにアクセス、ノード		
4	【到達目標】 JavaScriptにおける制御文について理解し、コードが作成できる 【授業内容】 条件分岐、繰り返し、ループの制御			12	【到達目標】 クライアント・サイド開発について理解している 【授業内容】 ブラウザーオブジェクト、デバッグ、ストレージ、Fetch		
5	【到達目標】 String、Number、Arrayなどのオブジェクトについて理解し、コードが作成できる 【授業内容】 オブジェクトに関する概論、String、Number、Data、Attay			13	【到達目標】 非同期処理について理解し、コードを作成できる 【授業内容】 非同期プログラミング		
6	【到達目標】 Mapや正規表現について理解している 【授業内容】 Map、Set、正規表現			14	【到達目標】 期末試験 【授業内容】 学習した内容について知識(筆記)と実技で評価する		
7	【到達目標】 関数について理解し、コードを作成できる 【授業内容】 関数の記述法			15	【到達目標】 講評と解説 【授業内容】 期末試験の講評と解説。さらなる学習ポイントについて		
8	【到達目標】 関数におけるスコープを理解している 【授業内容】 関数におけるスコープと一般的なスコープ			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	Webデザイン応用 I	必修 選択	選択	年次	2年	担当教員	塩谷 正樹
	Applied Web Design I	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分	前期
学科・コース	情報技術科					曜日・時間	水曜 3限
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。							
【授業の学習内容】 単なる静的なデザインカンプの制作ではなく、ページの動作もデザインの一部と考えてサイト制作全体を含めて「Webデザイン」と考えます。これまで学習してきた内容を少し掘り下げて、よりデザインに優れたサイト制作が出来るようにしていきます。							
【到達目標】 教科書のサンプルサイトの制作を通して、HTMLやCSSの上手な管理方法を理解する。 また、完成デザインから効果的な装飾などを理解し、実践できるようになる。							
【使用教科書・教材・参考書】 「ほんの一手間で劇的に変わるHTML & CSSとWebデザイン実践講座」 Udemy他、動画教材				【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 Webページの基本を理解する。 【授業内容】 HTML+CSSコーディングの確認テスト			9	【到達目標】 装飾とカラムレイアウトを理解する① 【授業内容】 完成ページの確認 2カラムレイアウトについて		
2	【到達目標】 Webページの基本と必須ツールを理解する 【授業内容】 より管理しやすいCSSIについて CSSの記述スタイルについて			10	【到達目標】 装飾とカラムレイアウトを理解する② 【授業内容】 異なる画面サイズへの対応 見出し、画像、ボタンの装飾		
3	【到達目標】 HTMLやCSSを上手に管理出来るようになる① 【授業内容】 Emmet、calcの再確認と拡張			11	【到達目標】 装飾とカラムレイアウトを理解する③ 【授業内容】 リストの装飾 引用文、ページ送り、囲み枠の装飾		
4	【到達目標】 HTMLやCSSを上手に管理出来るようになる② 【授業内容】 Sassを使って効率を上げる			12	【到達目標】 装飾とカラムレイアウトを理解する④ 【授業内容】 ヘッダー、フッター、ナビゲーションの装飾		
5	【到達目標】 レスポンシブWebデザインとフォントを理解する① 【授業内容】 完成ページの確認 シングルカラムのレイアウト			13	【到達目標】 装飾とカラムレイアウトを理解する⑤ 【授業内容】 表、フォームの装飾 スクロールに合わせて追従		
6	【到達目標】 レスポンシブWebデザインとフォントを理解する② 【授業内容】 フォントの詳しい使い方 アイコンフォントの使い方			14	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトのカスタマイズができるようになる。 【授業内容】 定期試験:Webサイトのカスタマイズ		
7	【到達目標】 レスポンシブWebデザインとフォントを理解する③ 【授業内容】 スマートフォン対応 ブレイクポイントの詳細			15	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトのカスタマイズが理解できるようになる。 【授業内容】 Webサイトのカスタマイズの解答と解説		
8	【到達目標】 練習問題をクリアする。 【授業内容】 練習問題とカスタマイズ			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数 100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。							

科目名 (英)	キャリアデザインⅠ Career DesignⅠ	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	小野 真由美
学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前 期 火 曜 1 限
【実務経験】 専門学校教育に従事して24年目。教務・広報・就職と幅広い業務経験を有し、専門学校生に必要なサポートを熟知している。							
【授業の学習内容】 ・1年後に社会に出ることを意識し、「働く自分」をイメージしながら、社会人基礎力を養う。 ・社会のマナー、ルールについて知る。 ・自分の「キャリア」について考える。							
【到達目標】 ・自ら目標を掲げ、主体的に行動できるようになる ・職業人として必要な「見構え」「気構え」「心構え」を身に付ける ・「働く自分」を具体的にイメージし、自分のキャリアを考えられるようになる							
【使用教科書・教材・参考書】				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 2年生の1年間を理解し、卒業時の自分をイメージできるようになる 【授業内容】 ・就職活動と学校生活 ・年間スケジュールの確認と必要なマインドについて			9	【到達目標】 メイク・整容について理解を深め、自分の魅せ方を知る 【授業内容】 ・メイク、整容の必要性とは ・自分の魅せ方		
2	【到達目標】 就職活動について理解する 【授業内容】 ・就職活動とは ・就職活動に必要な考え方と行動			10	【到達目標】 「信頼」について理解をし、日々の自分の行動に生かす 【授業内容】 ・信頼とは ・お互いを知ることを通して、「信頼」について考える		
3	【到達目標】 自己PRについて理解し、作成できるようになる 【授業内容】 ・自己PRとは ・自己PRの書き方について			11	【到達目標】 「学ぶ」ということについて考える 【授業内容】 ・「学ぶ」とは ・「学び」と「キャリア」		
4	【到達目標】 履歴書の書き方について理解し、作成できるようになる 【授業内容】 ・履歴書とは ・履歴書の書き方について			12	【到達目標】 学生生活最後の夏休みの過ごし方について考える 【授業内容】 ・時間の使い方について ・学生生活最後の夏休みの計画を立てる		
5	【到達目標】 学内合同企業説明会について理解し、準備を整える 【授業内容】 ・学内合同企業説明会とは ・企業研究の必要性和方法について			13	【到達目標】 これまでの就職活動を振り返り、今後の課題を設定する 【授業内容】 ・就職活動振り返り		
6	【到達目標】 学内合同企業説明会に参加し、就職活動をスタートする 【授業内容】 ・学内合同企業説明会			14	【到達目標】 前期振り返り 【授業内容】 ・前期定期試験		
7	【到達目標】 学内合同企業説明会を振り返り、今後の就職活動の計画を立てる 【授業内容】 ・振り返り(学びと気付き)の共有 ・マッチング結果、今後の準備について			15	【到達目標】 業界の方の講話を聴き、自分の将来について考える 【授業内容】 ・特別講話		
8	【到達目標】 面接について理解をし、不安なく面接に臨めるようになる 【授業内容】 ・面接とは？ ・「自己PR」プレゼンテーション大会			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	Linux演習 Linux Practice	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤愛主
学科・コース	情報技術科	授業 形態	演習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 1, 2限
【実務経験】							
AI・機械学習分野において、開発、ネットワークやサーバー、DBの構築、運用・保守を行った経験を有する。これらの実務経験に加え基本情報技術者、応用情報技術者、G検定、Pythonエンジニア認定基礎試験等のIT関連資格を有しており、資格試験取得ノウハウを有している							
【授業の学習内容】							
基本的なLinux操作やコマンド、基礎的なシステム管理スキルを習得する。演習や実践的なアクティビティも組み込んで、学習の定着を促進する。各セッションでの実習やデモンストレーションを通じて、学生の自主的な学びを促す。下記の内容はそれぞれ2コマ分の内容を記載している。							
【到達目標】							
Linux初学者が基本的なスキルを身につけ、システム管理に必要な知識を習得できるようになる。各セッションでの演習や質疑応答を通じて、実践的なスキルの向上と深い理解を得る。各学生が受け身ではなく、自分の力で疑問点や問題点を解決できるように促す。							
【使用教科書・教材・参考書】 Linux標準教科書 Udemy教材				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 Linuxの基本を理解する 【授業内容】 Linuxの基本概念と特徴 Linuxディストリビューションの選択と基本インストール			9	【到達目標】 クラウドコンピューティングと仮想化について理解する 【授業内容】 クラウドコンピューティングの基本 仮想化技術と仮想マシンの管理		
2	【到達目標】 ターミナル操作の基本を理解する 【授業内容】 ターミナルの基本 ファイルとディレクトリの基本操作			10	【到達目標】 セキュリティに関して理解する 【授業内容】 セキュリティの基本原則とベストプラクティス 脆弱性の診断と対処		
3	【到達目標】 ユーザー管理の考え方を理解する 【授業内容】 ユーザーアカウントの作成と管理 ファイルとディレクトリの権限設定とACL			11	【到達目標】 バックアップと復元について理解する 【授業内容】 バックアップの計画と実行 リカバリとデータの復元		
4	【到達目標】 シェルスクリプトについて理解する 【授業内容】 シェルスクリプトの基本構文 変数、条件分岐、ループの利用			12	【到達目標】 プロジェクトベースの実践について理解する 【授業内容】 実際のプロジェクトでのLinuxシステム管理		
5	【到達目標】 プロセス管理を理解する 【授業内容】 プロセスの監視と制御 バックグラウンドジョブの管理			13	【到達目標】 シェルスクリプトの応用について理解する 【授業内容】 ファイル処理、文字列操作の高度なスクリプティング システム管理用のシェルスクリプト		
6	【到達目標】 ファイルシステムとディスク管理について理解する 【授業内容】 ファイルシステムの基本概念 ディスクの管理、マウントとアンマウント			14	【到達目標】 定期試験 【授業内容】		
7	【到達目標】 ネットワーク設定と管理について理解する 【授業内容】 ネットワーク構成と設定 ファイアウォールとセキュリティ			15	【到達目標】 知識の定着 【授業内容】 定期試験と授業全般を振り返り、知識の定着をはかる		
8	【到達目標】 システムログと監視について理解する 【授業内容】 システムログの管理と解析 システムリソースの監視と調査			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 2コマ分の授業内容を記載している							

科目名 (英)	基本情報技術者試験対策 I [科目A](選択)	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤愛主		
学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 木 曜 3, 4 限		
【実務経験】									
AI・機械学習分野において、開発,ネットワークやサーバー、DBの構築、運用・保守を行った経験を有する。これらの実務経験に加え基本情報技術者、応用情報技術者、G検定、Pythonエンジニア認定基礎試験等のIT関連資格を有しており、資格試験取得ノウハウを有している									
基本情報技術者試験の試験Aの免除認定を行うために必須のカリキュラムとなっている。本講義と別で開講される対策講義を受講し、認定試験に合格することで、独立行政法人情報処理推進機構 (IPA)の主催する基本情報技術者試験の試験Aが1年間免除される。学習カリキュラムはIPAの基本情報技術者試験 (FE) のシラバスに準じている。									
【到達目標】									
ITを活用したサービス、製品、システムおよびソフトウェアを作る人材に必要な基本的知識・技能をもち、実践的な活用能力を身に着けた者としてふさわしい知識を有すること									
【使用教科書・教材・参考書】					【授業外における学習】				
ITワールド、過去問道場、Udemyの動画教材、TrackTraning					過去問道場				
回	授 業 概 要				回	授 業 概 要			
1 (対面)	【到達目標】 資格の概要についての理解、ハードウェアの理解 【授業内容】 授業オリエンテーション、コンピュータの基本構成、データ表現、問題演習				9	【到達目標】 データベースに対する理解 【授業内容】 問題演習			
2	【到達目標】 ハードウェアの理解 【授業内容】 中央処理装置と主記憶装置、補助記憶装置、問題演習				10	【到達目標】 ネットワークに対する理解 【授業内容】 インターネット、ネットワークアーキテクチャ、問題演習			
3	【到達目標】 ハードウェアの理解 【授業内容】 入出力装置、情報システムの処理形態、問題演習				11	【到達目標】 ネットワークに対する理解 【授業内容】 LAN、ネットワークの仕組み、ネットワーク管理、問題演習			
4	【到達目標】 情報処理システムの理解 【授業内容】 高信頼化システムの構成、情報処理システムの評価、問題演習				12	【到達目標】 セキュリティに対する理解 【授業内容】 情報セキュリティの概要、情報セキュリティ対策、問題演習			
5	【到達目標】 情報処理システムの理解 【授業内容】 ヒューマンインターフェース、マルチメディア、問題演習				13	【到達目標】 データ構造とアルゴリズムに対する理解 【授業内容】 データ構造、基本アルゴリズム、問題演習			
6	【到達目標】 ソフトウェアに対する理解 【授業内容】 ソフトウェアの分類、OS、問題演習				14	【到達目標】 定期試験 【授業内容】			
7	【到達目標】 ソフトウェアに対する理解 【授業内容】 プログラム言語と言語プロセッサ、ファイル、演習問題				15	【到達目標】 授業の振り返りを行い知識の定着を図る 【授業内容】			
8	【到達目標】 データベースに対する理解 【授業内容】 データベースの概要、SQL、, いろいろなデータベース、問題演習				【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価				
【特記事項】									

科目名 (英)	Webビジネス I	必修 選択	必修	年次	2年	担当教員	亀井 昭宏
学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 火曜 2限
【実務経験】 ウェブマーケティング会社の部門責任者としてウェブビジネス全般の実務現場を管理、マーケターとしてクライアントへの提案や施策実行経験を持つ。							
【授業の学習内容】 これまでのビジネスでの具体的な提案や打ち合わせなどでの内容、その施策実行の経験から得られた事例や知識を生かして独自情報にまとめ講義を行う。 ウェブ関連従事者としての実務経験を生かした具体的な説明を含んだ講義・質疑応答を繰り返し、記憶の定着を図る授業を行なう。将来のウェブ関連のビジネスシーンで自身の考えていることや実行したいことを具現化する手法を理解し身に付ける。前期では、主に過去の歴史やウェブビジネスの現状を理解できるようにする							
【 I 】Webビジネスの歴史や種類について理解する、Webブランディングの概要について理解する							
【使用教科書・教材・参考書】 未来ビジネス図解 最新デジタルマーケティング				【授業外における学習】			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 基本：マーケティング全体とその中のウェブマーケティングの成り立ちと過去の歴史を理解する 【授業内容】 インターネット史、デバイスとメディア、コンテンツの届け方の進化、マーケティングの現状を具体的な事例を使って説明する			9	【到達目標】 顧客の心を捉える：現代社会での情報過多、消費者ニーズの多様化、情報取捨選択の現状を理解する 【授業内容】 あふれる情報と選ばない消費者、選ぶ買い物と選ばない買い物を具体例で説明(Part2_Section1)		
2	【到達目標】 基本：Webビジネス、ウェブマーケティングの基礎理解をする 【授業内容】 デバイス、チャネル、コンテンツ、データ、テクノロジーの具体例とそのつながり、構成している要素と役割を説明する(Part1_Section1,2)			10	【到達目標】 顧客の心を捉える：成熟化してきたネット広告、変化せざるを得ないネット広告の現状を理解する 【授業内容】 ネット広告の変遷をおさらいし、現在のネット広告でのトラッキングのやりにくさやユーザーの意識変化にあわせた広告表現の多様化、ターゲティング手法の変化を具体例として説明する(Part2_Section2)		
3	【到達目標】 基本：チャネルとコンテンツを使った顧客に価値を伝達する方法、使い分けを理解する 【授業内容】 誰に何をいつどうやって届けるのかをカスタマージャーニーと具体例で説明する(Part1_Section3)			11	【到達目標】 顧客の心を捉える：ウェブビジネスでのデータ活用の手法とその重要性を理解する 【授業内容】 顧客ニーズのパターン化、行動データの分析、意識の変化の可視化を具体例で説明する(Part2_Section3)		
4	【到達目標】 基本：チャネルの中になるメディアを理解する 【授業内容】 メディアそのものと、メディアの構成要素であるトリプルメディアについて具体例で説明する(Part1_Section4)			12	【到達目標】 顧客の心を捉える：顧客の興味関心が高まるメカニズムを理解する 【授業内容】 ブランド認知から記憶への定着をカスタマージャーニーを使って説明、メカニズムを体系立てて理解する(Part2_Section4,5)		
5	【到達目標】 基本：チャネルの中のメディア、ネット広告についての概要を理解する 【授業内容】 ネット広告の種類と特徴、目的にあった活用方法を説明する(Part1_Section5)			13	【到達目標】 顧客の心を捉える：クライアントインサイトとカスタマーインサイト、その探索方法と重要性を理解する 【授業内容】 インサイトとはなにか、クライアント側とカスタマー側のインサイトのマッチングを確認しながらその探索方法と重要性を説明する(Part2_Section6)		
6	【到達目標】 基本：コンテンツの使い方、コンテンツマーケティングとSEOについて理解する 【授業内容】 コンテンツマーケティング誕生の背景、SEOの変遷、広報とPRの重要性と説明、一部SNSとの関わりにも触れる(Part1_Section6)			14	【到達目標】 前期最終試験：Microsoft Teamsを利用したテスト 【授業内容】 記述式と選択式の入力フォームでのテスト、基本登校参加。		
7	【到達目標】 基本：ネットとリアルとの連携や融合が発生していることを理解する 【授業内容】 リアルとデジタルの境目が溶けていること、EC、D2C、OMOといった重要キーワードを具体例で説明(Part1_Section7)			15	【到達目標】 前期最終試験：採点返却、振り返りとフィードバック 【授業内容】 試験の解説、振り返りと全体総評、採点状況の説明を行う。		
8	【到達目標】 基本：すでにはじまっている次世代型デジタルマーケティングの内容を理解する 【授業内容】 AIやIoTデバイス、ARを題材にデータを活用した新しいマーケティングを説明する、データ利活用の考え方にも触れる(Part1_Section8)			【評価について】 定期試験（筆記試験、実技試験、レポートのいずれか）により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 毎回前回の振り返りをするために理解度確認の小テストと説明を実施。最終試験は基本リアル登校。							

科目名 (英)	スマートフォンアプリ制作 I Smartphone App Development I	必修 選択	必須	年次	2	担当教員	高橋直幸
学科・コース	デジタルクリエイター専攻	授業 形態	実習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 土曜日 3,4限
【実務経験】							
学生時代にC言語を学び、ゲームプログラマーでアセンブラを2年ほど実務を経験し、その後は25年以上パソコンスクールで教えてきました。累計で教えてきた生徒は5千名以上。Office、Web、DTP、プログラムなど幅広く教えてきました。デザイナー、プログラマーの両方の視点を持ち、教材作成から講習までオールマイティに対応します。							
【授業の学習内容】							
android、iPhoneの両方のスマートフォンアプリ制作を学びます。前期はandroid、後期はiPhone。基本的なプログラムの作り方から始まり、クイズソフトや電卓や簡単なゲームを作る過程で、ある程度の長いソースコードに慣れていきます。 前期は、iPhoneアプリの開発をXcodeというソフトを使い、SwiftUIという言語で学びます。							
【到達目標】							
別科目の「iOSプログラミング」との区別分けとしては、なるべく何か形になるものを作るという事を目標としています。							
【使用教科書・教材・参考書】 オリジナル教材を使用				【授業外における学習】 なし			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 基本的なレイアウトを作れるようになる 【授業内容】 使用する言語Kotlinの基本から学び、簡単なレイアウトを作ってみて開発環境に慣れるようにする			9	【到達目標】 4択クイズを作れる 【授業内容】 難易度を3段階で、クイズアプリを作っていく、その過程でソフトを作り上げていく手法を学ぶ		
2	【到達目標】 ラベル、テキストボックス、ボタンについて理解できる 四則計算プログラムを作れる 【授業内容】 テキストボックスからの値の取得やテキストボックスに対する表記など、ボタンイベントなどこれから使う内容の基本を学ぶ			10	【到達目標】 タッチ・ザ・ナンバーゲームを作れる 【授業内容】 ゲーム性のある有名なタッチ・ザ・ナンバーを作り、何かを作り上げる喜びを感じてもらふ。		
3	【到達目標】 if分岐、forループ、配列などを理解できる 【授業内容】 ifを使った条件分岐、forやwhileを使った繰り返し処理、配列を使ったデータ管理の方法などを学ぶ			11	【到達目標】 神経衰弱ゲームを作れる 【授業内容】 神経衰弱ゲームを作り、様々な判定処理や、遅延処理などを学ぶ		
4	【到達目標】 画面遷移と画像表示について理解できる 【授業内容】 ボタンを押すと次の画面に切り替わるなどの処理を学ぶ 画像の表示の方法を学ぶ			12	【到達目標】 電卓アプリを作れる 【授業内容】 iPhoneで使われている電卓アプリと瓜二つの同じ見栄えの電卓アプリの作り方を学ぶ		
5	【到達目標】 トースト表示とアラート表示について理解できる 【授業内容】 何かのイベントが起きた時にお知らせをするトーストやアラートの表示方法について学ぶ			13	【到達目標】 トランプゲームのブラックジャックを作れる 【授業内容】 処理や判定がより複雑になってくるブラックジャックの作り方を2週にわたって学ぶ		
6	【到達目標】 カウントアップタイマー、カウントダウンタイマーなどを作ることができる 【授業内容】 時間を扱う処理を学び、基本的なタイマー処理の使い方を学ぶ			14	【到達目標】 前期試験 【授業内容】 与えられた課題を時間内でコーディング		
7	【到達目標】 アニメーション処理について理解できる 【授業内容】 画面内を画像が動く処理を学ぶ			15	【到達目標】 振り返り 【授業内容】		
8	【到達目標】 中間試験 【授業内容】 前期前半の内容から出題			【評価について】 定期試験(実技試験)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	データベース Databases	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	伊藤愛主
学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前 期 木 曜 2 限
【実務経験】							
AI・機械学習分野において、研究者としてプログラム開発だけでなく、ネットワークやサーバー、DBの構築、運用・保守を行った経験を有する。これらの実務経験に加え基本情報技術者、応用情報技術者、G検定、Pythonエンジニア認定基礎試験等のIT関連資格を有しており、資格試験取得ノウハウを有している							
【授業の学習内容】 データベースの構築、SQLが使用できる							
【到達目標】 Linux上でのコマンドライン操作ができるようになる。リレーショナルデータベースの仕組みを理解し、データの検索や加工ができるようになる。データベース設計の概念を理解し、簡単なデータベースの設計ができるようになる。データベース管理者としてユーザーの登録、権限の違いが理解できる。							
【使用教科書・教材・参考書】 Udemy教材(22日で学ぶSQL文、分析関数、・・・)、ウズウズカレッジオープンソースデータベース標準教科書				【授業外における学習】			
	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 データベースの基本概念を理解し、環境構築ができる 【授業内容】 データベースの基本概念、リレーショナルデータベースの特徴、SQL言語の紹介、PostgreSQLおよびMySQLの概要、Linux環境の基本的な操作			9	【到達目標】 関連サブクエリとパフォーマンスの最適化ができる 【授業内容】 関連サブクエリの基本原則 関連サブクエリの実用例と注意点		
2	【到達目標】 データベースの設計の概要を理解する 【授業内容】 テーブルの設計原則 実践: データベースの作成と基本的なテーブルの設計			10	【到達目標】 セキュリティとアクセス制御について理解する 【授業内容】 ユーザーの管理と権限設定 ロールの活用		
3	【到達目標】 SQL基本文法と基本クエリを理解する 【授業内容】 SELECT文の基本構文、WHERE句を使用したデータの絞り込み、ORDER BY句の利用、実践: 基本的なSELECTクエリの実行			11	【到達目標】 オリジナルのデータベース設計が行えるようになる 【授業内容】 データベース設計を体験し、オリジナルのデータベースを作成する		
4	【到達目標】 SQL基本文法と基本クエリを理解する 【授業内容】 SELECT文の基本構文、WHERE句を使用したデータの絞り込み、ORDER BY句の利用、実践: 基本的なSELECTクエリの実行			12	【到達目標】 プログラムからデータベースを呼び出せるようになる 【授業内容】 Pythonからデータベースを呼び出し操作する体験を行う		
5	【到達目標】 高度なSELECTクエリと集計関数を理解する 【授業内容】 複数のテーブルを結合する方法、GROUP BY句とHAVING句の活用、集計関数の使用、実践: 複雑なSELECTクエリの実行			13	【到達目標】 知識の定着を確認する 【授業内容】 試験内容を確認し、不足している知識や技術の補強を行う		
6	【到達目標】 高度なSELECTクエリと集計関数を理解する 【授業内容】 複数のテーブルを結合する方法、GROUP BY句とHAVING句の活用、集計関数の使用、実践: 複雑なSELECTクエリの実行			14	【到達目標】 定期試験 【授業内容】		
7	【到達目標】 サブクエリの基本構文と使用例を理解する 【授業内容】 サブクエリの基本的な構文と役割、実践: 基本的なサブクエリの実行と使用例			15	【到達目標】 振り返りを行い、知識の定着を図る 【授業内容】 授業の振り返りを行う		
8	【到達目標】 サブクエリと結合の応用を理解する 【授業内容】 サブクエリを使用した条件の絞り込み EXISTSおよびIN演算子の理解と使用例			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	動画制作・編集 I Video Creation and Editing I	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	岡田 祐一
		授業 形態	実習	総単位 時間	60	開講区分 曜日・時間	前期 土曜1・2限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】							
e/バ写カメラ教室を経営。写真撮影からスタートし、動画編集・モーショングラフィックスまで約1000人にレクチャーする。 2022年は夢気流プロジェクトとして、絵本の動画化にも取り組んだ。							
【授業の学習内容】							
企画、撮影、編集の他、コミュニケーションの取り方等の映像の制作に関わる様々な要素を総合的に学び、「伝える力」を身につける。 スマホやタブレットを用いて実際に動画素材を撮影する。その上で、動画編集ソフトのAdobe Premiere Proを用いて作品に仕上げられるスキルを習得する。今後、 動画をを用いた情報発信スキルがますます重要になると予想されるので、若者ならではの独創性を活かして素晴らしい作品を生み出してほしい。							
【到達目標】							
動画制作(企画・構成・撮影・編集)が出来る。							
【使用教科書・教材・参考書】							
『(3大特典付き)Premiere Pro よくばり入門 改訂版(できるよくばり入門)』(インプレス)				【授業外における学習】			
				できれば実際にAdobeのサブスクリプションを学割などを活用して購入し、動画制作をしてみることを推奨する			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 動画制作の基本を理解する 【授業内容】 動画制作の流れ・基本的な用語・スマホまたはタブレットでの撮影			9	【到達目標】 動画編集 アニメーションやエフェクトを使いこなす(3) 【授業内容】 カラー調整・モザイク など		
2	【到達目標】 動画編集 Premiere Proの基本操作を覚える 【授業内容】 素材管理から動画の書き出しまで			10	【到達目標】 動画編集 アニメーションやエフェクトを使いこなす(4) 【授業内容】 音の調整・文字起こしベース編集・ など		
3	【到達目標】 動画編集 基本テクニックをマスターする(1) 【授業内容】 Premiere Pro タイムライン・クリップ・カット編集・エフェクト・文字入れ・BGMの追加 など			11	【到達目標】 実際に動画を撮影して編集できるようになる② 【授業内容】 夏期休暇前までに習った内容で実際に動画を撮影して編集してみよう		
4	【到達目標】 動画編集 基本テクニックをマスターする(2) 【授業内容】 Premiere Pro カラー補正・ホワイトバランス・図形の挿入 など			12	【到達目標】 作成した動画の講評会② 【授業内容】 作成した動画を鑑賞して意見交換をしよう		
5	【到達目標】 実際に動画を撮影して編集できるようになる① 【授業内容】 実際に動画を撮影して編集してみよう			13	【到達目標】 クオリティアップのテクニック(1) 【授業内容】 HSLセカンダリ など 自分の作品をブラッシュアップする		
6	【到達目標】 作成した動画の講評会① 【授業内容】 作成した動画を鑑賞して意見交換をしよう			14	【到達目標】 クオリティアップのテクニック(2) 【授業内容】 ライトリークス など 自分の作品をブラッシュアップする		
7	【到達目標】 動画編集 アニメーションやエフェクトを使いこなす(1) 【授業内容】 アニメーション など			15	【到達目標】 作成した動画の講評会③ 【授業内容】 作成した動画を鑑賞して意見交換をしよう		
8	【到達目標】 動画編集 アニメーションやエフェクトを使いこなす(2) 【授業内容】 スピードのコントロール・手振れ補正 など			【評価について】 定期試験(課題提出および発表)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 教科書は必ず購入すること。							

科目名 (英)	人工知能 I Artificial Intelligence I	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	伊藤愛主
学科・コース	情報技術科	授業 形態	演習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 金曜 1限
【実務経験】 AI・機械学習分野において、研究者としてプログラム開発だけでなく、ネットワークやサーバー、DBの構築、運用・保守を行った経験を有する。これらの実務経験に加え基本情報技術者、応用情報技術者、G検定、Pythonエンジニア認定基礎試験等のIT関連資格を有しており、資格試験取得ノウハウを有している							
【授業の学習内容】 AIの歴史や用途等を学習し、Pythonによるデータ分析、機械学習の基礎を学ぶ。データ分析の実践的な学びを通じて、ビジネスの現場に役立つデータの取り扱い、Pythonプログラミングスキルを習得していく							
【到達目標】 AIの歴史について理解している。Pythonの基礎文法を理解している。AI実装やデータ分析のプログラミングに必要な検索能力を習得する。							
【使用教科書・教材・参考書】 TrackTraning Python実践データ分析100本ノック Udemy「たっぷりの練習問題を楽しみながら学ぶPython講座」 Udemy「独学で身につけるPython～演習問題セット～【業務効率化・自動化で残業を無くそう！】」				【授業外における学習】 Udemy等でAI実装やPythonの自習をしてもらえると理解が深まる			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1 (対面)	【到達目標】 これから学ぶことはなにかを共有する。人工知能とは、データ分析とは 【授業内容】 PBLで書籍を用いたグループワークを行う。書籍を用いて、自分なりにAI、データサイエンス、Python等について思いをはせる			9	【到達目標】 機械学習の基礎を理解する 【授業内容】 教科書第3章 顧客の模擬データを用いた全体像の把握		
2	【到達目標】 Pythonの基礎を理解する 【授業内容】 Linux環境でPython実行環境の構築し、Pythonの基礎を理解する変数、データ型、インデント			10	【到達目標】 機械学習の基礎を理解する 【授業内容】 教科書第4章 機械学習による模擬顧客の行動予測を行ってみる		
3	【到達目標】 Pythonの基礎を理解する 【授業内容】 リスト、タプル、ディクショナリ、セット、スライス			11	【到達目標】 機械学習の基礎を理解する 【授業内容】 教科書第5章 機械学習による顧客の退会予測を行ってみる		
4	【到達目標】 Pythonの基礎を理解する 【授業内容】 条件分岐、繰り返し処理等の制御構文			12	【到達目標】 最適化問題を理解する 【授業内容】 教科書第6章物流の模擬データによる最適化問題へ取り組む		
5	【到達目標】 Pythonの基礎を理解する 【授業内容】 関数の作り方、Class、Fileの取り扱い			13	【到達目標】 今までの授業を振り返り知識の定着を図る 【授業内容】 今までの復習		
6	【到達目標】 データ分析やAI構築に利用するライブラリを理解する 【授業内容】 Pandas、Numpy、Matplotlib			14	【到達目標】 定期試験 【授業内容】		
7	【到達目標】 データ加工の基礎を習得する 【授業内容】 教科書第1章P35 ウェブからの注文数を分析してしてみる			15	【到達目標】 今までの授業を振り返り知識の定着を図る□ 【授業内容】 授業と試験の振り返りを行い知識の定着をはかる		
8	【到達目標】 データ加工の基礎を習得する 【授業内容】 教科書第2章P57 一商店の模擬データでデータ加工を行う			【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	ネットワーク Networks	必修 選択	必修	年次	2	担当教員	遠藤康平
学科・コース	情報技術科	授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜3限
【実務経験】 システムエンジニアとして設計から開発、テスト、導入、インフラ構築、運用まで10年あまりの実務経験を有する。							
【授業の学習内容】 インターネットはコンピュータを相互接続した世界規模のネットワークであり社会基盤となっている。情報システムにおいても必要不可欠なネットワーク技術の基礎を身につける。							
【到達目標】 ・通信プロトコルや階層モデルを説明できる ・TCP/IPについて理解し説明できる ・各種インターネット技術について説明できる							
【使用教科書・教材・参考書】 (教科書)この一冊で全部わかるネットワークの基本【第2版】				【授業外における学習】 予習として教科書の該当ページを熟読する。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 ネットワークとは何かについて学ぶ 【授業内容】 テキストp.12～23			9	【到達目標】 インターネットのバックグラウンドサービスについて学ぶ 【授業内容】 テキストp.130～144		
2	【到達目標】 OSI参照モデルについて学ぶ 【授業内容】 テキストp.24～33			10	【到達目標】 ネットワークセキュリティの概要について学ぶ 【授業内容】 テキストp.146～157		
3	【到達目標】 基数表現とTCP/IPとは何かについて学ぶ 【授業内容】 テキストp.34～49			11	【到達目標】 ネットワークセキュリティの実装について学ぶ 【授業内容】 テキストp.158～168		
4	【到達目標】 TCP/IPのレイヤーについて学ぶ 【授業内容】 テキストp.50～65			12	【到達目標】 ネットワークの構築について学ぶ 【授業内容】 テキストp.170～183		
5	【到達目標】 IPアドレスについて学ぶ 【授業内容】 テキストp.66～76			13	【到達目標】 ネットワークセキュリティ運用について学ぶ 【授業内容】 テキストp.184～194		
6	【到達目標】 TCP/IPで通信する仕組みについて学ぶ 【授業内容】 テキストp.78～91			14	【到達目標】 期末試験 【授業内容】 期末試験		
7	【到達目標】 ネットワーク機器と仮想化について学ぶ 【授業内容】 テキストp.92～114			15	【到達目標】 期末試験の復習/ネットワーク分野を得意になるには 【授業内容】 期末試験の復習/ネットワーク分野を得意になるには		
8	【到達目標】 インターネットのアプリケーションサービスについて学ぶ 【授業内容】 テキストp.116～129			【評価について】 定期試験(筆記試験)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】							

科目名 (英)	プロジェクト実習(Webデザイン)I Project Practical Training (Web Design) I	必修 選択	選択	年次	2年	担当教員	塩谷 正樹	
		授業 形態	実習	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 水曜 1・2限	
学科・コース	情報技術科							
【実務経験】 Web制作会社、広告代理店、フリーランスとして、20年以上にわたりWeb制作の経験がある。PhotoshopやWeb制作に関する著書もある。								
【授業の学習内容】 教科書や動画教材を使用して、まずはWordPressの機能やWebサイトの構築方法を学びます。一通り制作の流れを理解した上で、後半ではチームで題材を考え、情報発信に適したテーマのカスタマイズを行います。素材写真については、外部講師を招いて情報発信に効果的な画角や撮影時のポイントなどを伺います。 ※撮影会日については対面での授業となります。								
【到達目標】 WordPressでWebサイト制作が出来るようになる。 チーム制作によるクライアント要件の達成が出来るようになる。								
【使用教科書・教材・参考書】 「1冊ですべて身につくWordPress入門講座」 Udemy他、動画教材					【授業外における学習】 専門用語が出てくるので事前学習を行い授業に備える。 授業内で完了しなかった制作物は次回授業までの宿題とします。			
回	授 業 概 要				回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 WordPressの基礎を理解する 【授業内容】 WordPressの仕組みと概要について WordPressの設置準備				9	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトを企画・構築できるようになる① 【授業内容】 チーム編成と役割決め 企画案の作成(調査・分析、ターゲット、題材、必要素材の選定など)		
2	【到達目標】 WordPressでWebサイト制作が出来るようになる① 【授業内容】 サイト制作の流れと完成サイトの確認 レンタルサーバーやドメインについて				10	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトを企画・構築できるようになる② 【授業内容】 企画案の発表とテーマ(レイアウト)の選定		
3	【到達目標】 WordPressでWebサイト制作が出来るようになる② 【授業内容】 WordPressの初期設定 管理画面の構成チェック				11	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトを企画・構築できるようになる③ 【授業内容】 写真素材の準備 ※外部講師を招いての写真撮影のため、対面での授業になります		
4	【到達目標】 セキュリティ対策とエラーの対処法を理解する 【授業内容】 セキュリティ対策について リカバリーモードについて				12	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトを企画・構築できるようになる④ 【授業内容】 素材の調整とテーマのカスタマイズ ※写真撮影予備日		
5	【到達目標】 テーマのカスタマイズが出来るようになる① 【授業内容】 完成サイトの確認と作業工程の確認 フルサイト編集について テーマの作成方法について				13	【到達目標】 テーマに沿ったWebサイトを企画・構築できるようになる⑤ 【授業内容】 Webサイトの調整と確認		
6	【到達目標】 テーマのカスタマイズが出来るようになる② 【授業内容】 ホームの作成 ヘッダーの作成				14	【到達目標】 制作サイトの公開ができるようになる 【授業内容】 定期試験:Webサイトの発表① 作品のフィードバックなど		
7	【到達目標】 テーマのカスタマイズが出来るようになる③ 【授業内容】 投稿と固定ページのヘッダー作成 フッターの作成				15	【到達目標】 制作サイトの公開ができるようになる 【授業内容】 定期試験:Webサイトの発表② 作品のフィードバックなど		
8	【到達目標】 Webサイトを見てもらうために必要なことを理解する 【授業内容】 複数人で管理する方法 SNSや問い合わせフォームの設置				【評価について】 定期試験(筆記試験、実技試験、レポートのいずれか)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 授業の進行状況や理解度によってシラバス内容を一部変更する場合があります。 授業の理解度を図るため小テストを行います。								

科目名 (英)	基本情報技術者試験 対策 I [科目A] Fundamental Information Technology Engineer Examination Preparation I	必修 選択	選択	年次	2	担当教員	遠藤康平
		授業 形態	講義	総単位 時間	30	開講区分 曜日・時間	前期 月曜4限
学科・コース	情報技術科						
【実務経験】 システムエンジニアとして設計から開発、テスト、導入、インフラ構築、運用まで10年あまりの実務経験を有する。							
【授業の学習内容】 基本情報技術者試験合格を目的とした頻出問題の解説、問題演習を通して解答力をつける。							
【到達目標】 基本情報技術者試験の合格							
【使用教科書・教材・参考書】 (教科書)IT戦略とマネジメント (参考書)【令和5年度】いちばんやさしい ITパスポート 絶対合格の教科書＋出る順問題集				【授業外における学習】 授業後の復習のため指定の過去問題に取り組む。			
回	授 業 概 要			回	授 業 概 要		
1	【到達目標】 企業活動と企業会計について理解する 【授業内容】 企業活動と企業会計(テキストp.1～25)			9	【到達目標】 ソフトウェア開発技術について理解する 【授業内容】 ソフトウェア開発技術(p.226～243)		
2	【到達目標】 経営科学について理解する 【授業内容】 経営科学(p.26～p.57)			10	【到達目標】 システム開発環境とWebアプリケーション開発について理解する 【授業内容】 システム開発環境とWebアプリケーション開発(p.244～p.251)		
3	【到達目標】 経営科学について理解する 【授業内容】 経営科学(p.58～p.73)			11	【到達目標】 プロジェクトマネジメントについて理解する 【授業内容】 プロジェクトマネジメント(p.258～p.289)		
4	【到達目標】 法務と標準化について理解する 【授業内容】 法務と標準化(p.74～p.103)			12	【到達目標】 サービスマネジメントについて理解する 【授業内容】 サービスマネジメント(p.290～315)		
5	【到達目標】 経営戦略マネジメントについて理解する 【授業内容】 経営戦略マネジメント(p.114～p.131)			13	【到達目標】 システム監査と内部統制について理解する 【授業内容】 システム監査と内部統制(p.316～331)		
6	【到達目標】 技術戦略マネジメントとビジネスインダストリについて理解する 【授業内容】 技術戦略マネジメントとビジネスインダストリ(p.132～p.156)			14	【到達目標】 期末試験。 【授業内容】 期末試験。		
7	【到達目標】 情報システム戦略について理解する 【授業内容】 情報システム戦略(p.162～p.184)			15	【到達目標】 期末試験の振り返り。頻出論点の総復習。 【授業内容】 期末試験の解説、問題演習。		
8	【到達目標】 システム開発技術(SLCP開発プロセス)について理解する 【授業内容】 システム開発技術(SLCP開発プロセス)とソフトウェア開発技術(p.190～p.225)			【評価について】 定期試験(筆記試験)により評価する。 ○成績評価 点数100～90点＝A評価 点数 89～80点＝B評価 点数 79～70点＝C評価 点数 69～60点＝D評価 点数 59点以下＝F評価			
【特記事項】 「基本情報処理過去問道場」(ITパスポート未合格者は「ITパスポート過去問道場」)を一日一問を目標に実施する							